

今後の論点(たたき台)

国土交通省 観光庁

観光資源課

平成21年6月

1. 総論～通訳案内士制度を取り巻く基本的課題について～

- ①通訳案内士に求められる質・役割は何か(語学、旅程管理、接遇等)。
- ②質の高い通訳案内士をどのように確保するか(試験制度、登録更新制度、研修制度等)。
- ③業務独占規定は必要か。
- ④無資格ガイドの具体的な問題点とは何か。
- ⑤アジア言語への対応をどのように図るのか。
- ⑥地方における通訳案内士をどのように確保するか。
- ⑦旅行者のニーズに沿った弾力的な料金設定を、どのように実現するか。
- ⑧通訳案内士の職業としての魅力をどのように維持・向上するべきか。

2. 各論～具体的な制度設計のあり方について～

(1) 通訳案内士試験について

- 通訳案内士試験に求められる役割は何か。
- 通訳案内士を確保するために必要な試験制度とは何か(科目、言語、出題レベル等)。
- 通訳案内士試験をどのように効率的に運営するのか(海外試験、マークシート方式等)。

(2) 通訳案内士の登録制度について

- 登録制度に求められる役割は何か。
- どのような登録者の管理が合理的か(転居、死亡等による異動の把握等)。

(3) 悪質なガイドへの対応について

- 悪質なガイドを取り締まる有効かつ現実的な対応はあるのか。

(4) 通訳案内士の活動機会の拡大について

- 通訳案内士に対する需要と供給のマッチングをどのように図るべきか（通訳ガイド検索システム等）。

(5) 研修の充実について

- 質の高いガイドを育成するため、どのように研修を充実させていくべきか。

(6) 地域限定通訳案内士制度について

- 地域限定通訳案内士制度の活用の可能性としてどのようなことが考えられるのか（広域圏への対応、取組地域の拡大等）。